

INFORMATION

T&D情報システム株式会社

平成30年5月2日

平成29年度アシスト「ソリューション研究会」発表で、
当社従業員所属グループが最優秀賞を受賞しました。

アシストユーザ会(*)主催の平成29年度ソリューション研究会の研究発表(平成30年2月9日開催)にて、事業三部 支払システム課の島田晃平職員、保全システム課の岩井有希職員が所属するグループが最優秀論文賞を受賞、経営企画部 経営企画二課(大阪)の市林千明職員が所属するグループが最優秀プレゼンテーション賞を受賞しました。

■研究テーマ

- ①『情報システムにおけるAI活用を探る(島田、岩井)』
- ②『ワークライフ・バランスとITの活用(市林)』

■発表内容

- ①IBMのWatsonを利用したトライアルから高い精度を得るために必要な要素を考察しました。テーマの研究を通じて得たメンバーの知見を元に、AI導入の成功事例や失敗事例をモデル企業を用いて説明し、AI導入の成功要素を考察しました。
- ②「もったいない！あなたの人生、仕事だけでいいですか？」と題し、ワークライフ・バランスのライフを現状の生活だけを意味するのではなく、定年後も見据えた「人生」と捉え、「一人ひとりのワークスタイルを尊重する社会の実現」をテーマに研究を進め、「柔軟な働き方」「子育て・介護」「生産性向上」「ITの活用」を柱に働く人の視点で考案し、一人ひとりがワークスタイルを考える“きっかけ”となるプレゼン資料を作成し発表しました。

■受賞理由

- ①AIを実際に利用し考察をした点やAI導入時に気を付けるべき点をまとめたことが評価されました。
- ②視座・視点が良く、重要となるキーワードや具体的な取り組みなどわかりやすく、聴講者のハートを掴むプレゼンテーション力を評価されました。

■受賞状況

全18グループ中、最優秀論文賞・最優秀プレゼンテーション賞は当該2グループを含め計5グループが受賞。

■受賞者のコメント

- ・年代や立場の異なる様々な業種の方と一つのテーマについて活発な議論を行うためには、会議運営のルール設定やテーマを共有することの大切さを再認識することができました。また、最先端技術であるAIについて研究することが、日々の業務への良い刺激となりました。(島田職員)
- ・力を合わせてひとつのものを作り上げるにより大きな達成感を得ることができました。様々な年齢・業種の方と活発に意見を交わすことで傾聴力、考えをまとめて相手に伝える力を高めることができました。今後のシステム開発にも活かしていきたいです。(岩井職員)
- ・最初は、企業風土、職場環境や勤務形態の異なる他社の女性12名での活動に戸惑い、話がまとまらず不安なこともありましたが、メンバーの高いモチベーションと熱い思いや考えを共有する活発な議論を重ねることでメンバー同士が良い関係を築き、最後まで全員で成し遂げ、評価いただけたこと大変嬉しく思います。分科会活動を通じて、自分の働き方、キャリアについて見直す良い機会となりました。(市林職員)



最優秀賞を受賞した島田職員(左)と
岩井職員(中央)、市林職員(右)

(*)株式会社アシストが主催するユーザ会。ソリューション研究会は、アシストが提供するサービスを利用している企業・団体が参加し、技術交流・意見交換を行なうことを目的とした活動。

以上

本件に関するお問合せ先

T&D情報システム株式会社

経営企画部 経営総務課 048-825-6101